

令和6年度宍粟市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

<現 状（令和5年度）>

北部地域は、日本海型気候の影響を受け、寒冷多雨で冬季は積雪が多い。また、水田の多くは中山間地域及び山間棚田地域で農業の生産基盤となる平地農業地域が少なく、小規模兼業農家が多い。

南部地域は、瀬戸内海沿岸と中国山地東方の分水嶺とのほぼ中央の内陸にあるという位置条件から、夏は高温、冬は低温という内陸性気候の特徴を持っている。農地の多くは中山間地域に存在し、小規模兼業農家が大半を占めている。

<課 題>

全域において、農家の高齢化、後継者不足、土地持ち非農家の増加等が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、主食用米の需要が減少する中で、丹波黒大豆や麦、やまのいもなど地域振興作物への転換を推進し、水田面積の維持を図っていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

北部地域は、黒大豆の作付面積の増加に力を入れてきたが、ブランドを維持するために品質の向上を目指す。また、小豆については南部地域では栽培されてるが、北部地域の環境に即した栽培方法を模索し、黒大豆に並ぶ地域特産物になるように取組んでいく。さらに、すでに作付面積が増加傾向にある山椒については、地域に根付いた栽培技術を活用し、ブランド化に取り組む。

南部地域では、集落営農組織を中心とした黒大豆や白大豆、小麦の生産が団地化されることで、生産性の向上に取り組む。また、白大豆や小豆について、機械化することにより、少ない作業時間で収益を確保することが期待できる。

全域において、高齢化や農家数の減少により、栽培数が減少している伝統野菜については地域特産物としての復活と継承に取り組む。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の需要が減少する中で、転換作物への作付を促し、地域における効率的な土地利用に配慮し、必要に応じて畑作物を推進する。水稻作に活用される見込みがない農地については作付体系を水田台帳等を活用し定期的に点検し、畑地化支援を含め検討していく。

集落営農組織や農会を中心に、米、麦、大豆のブロックローテーション体系をさらに広げていく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、良食味・安全・安心の売れる米づくりを推進する。また、種子米、酒米の生産地として規模拡大を目指す。

(2) 備蓄米

食用米の需要が減少する中で、備蓄米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

耕種農家と畜産農家の連携を強化して、畜産農家の利用する飼料の生産に適した条件の水田を集積することにより、低コストでの自給飼料の生産定着を図る。

イ 米粉用米

食用米の需要が減少する中で、米粉用米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

ウ 新市場開拓用米

食用米の需要が減少する中で、新市場開拓用米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

エ WCS 用稲

耕種農家と畜産農家の連携を強化して、低コストでの飼料生産に適した条件の水田を畜産農家に集積することにより、自給飼料の生産の定着及び拡大を図る。

オ 加工用米

食用米の需要が減少する中で、加工用米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

団地化及びブロックローテーションを継続し、5年後においても、現行の麦・大豆の作付面積の維持を目指す。

小麦は、種子用小麦の一大生産地となっており、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

黒大豆は、丹波黒大豆を地域振興作物と位置づけ、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

白大豆は、集落営農を中心に、機械化による効率化により、労働力の削減を図り、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

(5) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。また、イベントとの連携を図り、農産物直売会を実施するなど所得増加の取り組みを進める。

(6) 地力増進作物

農地土壌は農業生産の基盤であり、計画的に取り組むことで、農業生産の持続的な維持向上に向けて土づくりを推進する。

(7) 高収益作物

少量多品目の野菜の作付けに対し、国からの産地交付金を活用し、直売所出荷等を促進するとともに、地産地消の観点から、給食向け野菜の生産を確保する。

また、わさび、アスパラガス、黒大豆（枝豆用）、やまのいも、ブルーベリー、山菜、小豆については、地域振興作物と位置づけ、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

(8) 畑地化

大豆、そば、飼料作物、野菜について、ブロックローテーション体系が取れずに、作物が定着している団地化した農地については、畑地化支援を活用し推進を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	874.34	0	870.20	0	877.00	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	11.04	0	1.22	0	13.00	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	18.76	0	18.32	0	20.00	0
加工用米	0	0	2.63	0	3.00	0
麦	21.40	10.83	23.83	8.52	24.00	13.00
大豆	91.82	10.09	93.23	11.70	95.00	12.00
飼料作物	39.32	16.48	38.01	15.91	37.00	16.00
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	2.13	0	3.46	0	4.00	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	1.93	0	0.93	0	2.00	0
高収益作物	199.61	0.11	191.27	0.27	222.00	0
・野菜	140.85	0.11	134.42	0.27	150.00	0
・花き・花木	11.56	0	11.43	0	14.00	0
・果樹	30.81	0	29.36	0	35.00	0
・その他の高収益作物	16.39	0	16.06	0	23.00	0
その他	2.86	0	2.85	0	3.70	0
・育苗類	2.86	0	2.85	0	3.70	0
畑地化	14.93	0	17.25	0	20.00	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	黒大豆（子実用）	黒大豆（子実用）の生産性向上に向けた取組助成	取組面積拡大	（5年度）37.50ha	（8年度）43.0ha
2	小麦	麦の生産性向上等に向けた取組助成	取組面積拡大	（5年度）10.25ha	（8年度）12.0ha
3	黒大豆（枝豆用）	黒大豆（枝豆用）助成（北部）	取組面積拡大	（5年度）5.01ha	（8年度）5.5ha
4	黒大豆（枝豆用）	黒大豆（枝豆用）助成（南部）	取組面積拡大	（5年度）0.60ha	（8年度）1.0ha
5	わさび、アスパラガス、やまのいも、ブルーベリー（新植）、たらの芽、うど、わらび、こごみ、ふき	地域特産物助成	取組面積拡大	（5年度）4.62ha	（8年度）8.9ha
6	小豆	小豆助成（基幹）	取組面積拡大	（5年度）2.23ha	（8年度）7.0ha
7	小豆	小豆助成（二毛作）	取組面積拡大	（5年度）0.00ha	（8年度）2.0ha
8	小豆	担い手による小豆助成(基幹)	取組面積拡大	（5年度）2.77ha	（8年度）5.0ha
9	小豆	担い手による小豆助成(二毛作)	取組面積拡大	（5年度）0.00ha	（8年度）0.2ha
10	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	戦略作物の二毛作助成	取組面積拡大	（5年度）36.91ha	（8年度）37.5ha
11	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)	取組面積拡大	（5年度）27.79ha	（8年度）30.0ha
12	一般作物	一般作物助成(基幹)	取組面積拡大	（5年度）14.44ha	（8年度）18.0ha
13	一般作物	担い手による一般作物助成(基幹)	取組面積拡大	（5年度）5.38ha	（8年度）7.0ha
14	白大豆（一般）	白大豆助成	取組面積拡大	（5年度）7.53ha	（8年度）8.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名:

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取組要件等 ※4
1	黒大豆(子実用)の生産性向上等に向けた取組助成	1	23,000	黒大豆(子実用)	1.0ha以上の面積要件を満たす担い手、3年以上のブロックローテーションまたは1.0ha以上面的集積する取組
2	麦の生産性向上等に向けた取組助成	1	14,000	小麦	1.0ha以上の面積要件を満たす担い手、3年以上のブロックローテーションまたは1.0ha以上面的集積する取組
3	黒大豆(枝豆用)助成(北部)	1	28,000	黒大豆(枝豆用)	作付面積に応じて助成
4	黒大豆(枝豆用)助成(南部)	1	9,000	黒大豆(枝豆用)	作付面積に応じて助成
5	地域特産物助成	1	27,000	わさび、アスパラガス、やまのいも、ブルーベリー(新種)、たらの芽、うど、わらび、こごみ、ふき	作付面積に応じて助成
6	小豆助成(基幹)	1	27,000	小豆	作付面積に応じて助成
7	小豆助成(二毛作)	2	27,000	小豆	作付面積に応じて助成
8	担い手による小豆助成(基幹)	1	46,000	小豆	担い手を対象とし、作付面積に応じて助成
9	担い手による小豆助成(二毛作)	2	46,000	小豆	担い手を対象とし、作付面積に応じて助成
10	戦略作物の二毛作助成(二毛作)	2	14,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	「主食用米と戦略作物」又は「戦略作物同士」の組み合わせによる二毛作の作付面積に応じて助成
11	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携)	3	12,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	3年間以上を締結期間とする利用供給協定を締結すること
12	一般作物助成(基幹)	1	9,000	一般作物(詳細は別添のとおり)	作付面積に応じて助成
13	担い手による一般作物助成(基幹)	1	46,000	一般作物(詳細は別添のとおり)	担い手を対象とし、作付面積に応じて助成
14	白大豆助成	1	9,000	白大豆(一般)	担い手を対象とし、1.0ha以上の面積要件を満たす取組

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

中央市地域農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
		当初配分 (A)	追加配分 (B)
中央市地域農業再生協議会	27,853,000	27,853,000	
			27,847,200

(注)追加配分が未定の段階にあっては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

27,853,000 円

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単価① (円/10a)	面 積 (a単位)※3																所要額 ①×② (円)	
				戦略作物						新市場 開拓用 米	そば	なたね	地力 増進 作物	高収益作物				その他	合計 ② ※5		
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲					加工用米	野菜	花き ・花木	果樹				その他の 高収益作 物
1	黒大豆(子実用)の生産性向上等に向けた取組助成	1	23,000		3,050															3,050	7,015,000
2	麦の生産性向上等に向けた取組助成	1	14,000	1,470																1,470	2,058,000
3	黒大豆(枝豆用)助成(北部)	1	28,000												220					220	616,000
4	黒大豆(枝豆用)助成(南部)	1	9,000												80					80	72,000
5	※6産地交付金(米)は、アフリカ産米、中東産米、アジア産米、オーストラリア産米、米国産米、その他産米、その他産米	1	27,000												700		6	60		766	2,068,200
6	小豆助成	1	27,000															580		580	1,566,000
7	小豆助成(二毛作)	2	27,000																	0	0
8	担い手による小豆助成	1	46,000															330		330	1,518,000
9	担い手による小豆助成(二毛作)	2	46,000																	0	0
10	戦略作物の二毛作助成	2	14,000	840	1,170	1,680														3,690	5,166,000
11	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)	3	12,000			1,150			1,040											2,190	2,628,000
12	一般作物助成(基幹)	1	9,000												1,470	110		200		1,780	1,602,000
13	担い手による一般作物助成(基幹)	1	46,000												560	80				640	2,944,000
14	白大豆助成	1	9,000		660															660	594,000
合 計 (基 幹) ※4			実面積	1,470	3,710	1,150	0	0	1,040	0	0	0	0	0	3,030	190	6	1,170	0	11,766	27,847,200
合 計 (二 毛 作) ※4			実面積	840	1,170	1,680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,690	

※1 ニ毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、ニ毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(ニ毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、ニ毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携でニ毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・ニ毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、ニ毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携でニ毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(ニ毛作)の実面積」は、ニ毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、ニ毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注) 用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

(1) 次の優先順位で単価を調整する。

①整理番号13『担い手による一般作物助成(基幹)』(上限50,000円)、②整理番号1『黒大豆(子実用)の生産性向上等に向けた取組助成』(上限25,000円)と整理番号2『麦の生産性向上等に向けた取組助成』(上限15,000円)と整理番号10『戦略作物の二毛作助成(二毛作)』(上限15,000円)③整理番号8『担い手による小豆助成(基幹)』(上限50,000円)、④整理番号9『担い手による小豆助成(二毛作)』(上限50,000円)、⑤整理番号14『白大豆助成』(上限10,000円)を①⇒②⇒③⇒④⇒⑤の順番で上限単価まで1,000円単位で単価調整し増額する。

(2) 上記(1)で余剰金が出た場合は、⑥整理番号11『耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携)』(上限13,000円)、⑦整理番号3『黒大豆(枝豆用)助成(北部)』(上限30,000円)、整理番号4『黒大豆(枝豆用)助成(南部)』(上限10,000円)を⑥⇒⑦と優先的に上限単価まで1,000円単位で増額。その後、残りのメニューについて上限単価まで1,000円単位で単価調整。

(3) 減額調整時は、減少額に応じて調整する(千円未満切り捨て)。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

対象作物の作付面積が拡大し、所要額が配分枠を超過した場合、①整理番号5と12について一律1,000円減額する。②整理番号3、4、6、7について一律1,000円減額する。③残りのメニューについて一律1,000円減額する。
1,000円ずつ調整しても不足する場合は、再度①⇒②⇒③の順に減額調整する。

6. 高収益作物について

落花生、その他豆類(ささげ豆)、薬用作物(セネガ)、うこん、ドクダミ、カワラケツメイ、綿花、こんにゃく、ごま、えごま、小豆、たらの芽

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜・花き・花木・果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

水田活用の直接支払交付金に係る高収益作物所得計算書

協議会名：宍粟市地域農業再生協議会

高収益作物カテゴリー	作物名	10a当たり収量(kg)	販売単価(円/kg)	機械整備費(円/10a)	種苗、肥料等の諸経費(円/10a)	投下労働時間(円/10a)	収益(10a/円)
その他	落花生	131	1,000	5,000	43,000	5,000	78,000
	その他豆類(ささげ豆)	100	5,000				500,000
	薬用作物(セネガ)	150	5,000		100,000	60,000	590,000
	うこん	300	2,000				600,000
	ドクダミ	5,000	100	0	100,000	120,000	280,000
	カワラケツメイ	150	1,200		21,000	12,000	147,000
	綿花	50	2,000				100,000
	こんにゃく	2,700	150	33,000	141,000	21,000	210,000
	ごま	150	2,000		150,000		150,000
	えごま	150	2,000		150,000		150,000
	小豆	150	1,400	80,000	60,000		70,000
	たらの芽	120	3,072	38,316	63,000		369,000

カテゴリー	区分	作物等名	作物コード	整理番号				
戦略作物	麦	小麦	100	2	10			
		小麦（種子用）	101	2	10			
		六条大麦	102		10			
		二条大麦	104		10			
		はだか麦	106		10			
	大豆	青大豆	109		10			
		白大豆（一般）	122		10	14		
		白大豆（契約）	123		10			
		白大豆（種子用）	112		10			
		黒大豆	110	1	10			
		黒大豆（種子用）	111	1	10			
	飼料	青刈りとうもろこし	124		10	11		
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	125		10	11		
		わら専用稲	113		10	11		
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	126		10	11		
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、バヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス、リードカナリーグラス、飼料用シバ）	127		10	11		
		イタリヤンライグラス	128		10	11		
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ）	129		10	11		
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	130		10	11		
		飼料用穀類（子実用えん麦）	131		10	11		
		青刈りハトムギ（飼料用）	132		10	11		
	作物	子実用はと麦	121		10	11		
		その他飼料作物	133		10	11		
		その他飼料作物（資源循環非対象）	134		10	11		
		飼料用青刈り稲	157		10	11		
		新規需要米	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼78号（兵庫牛若丸）、夢あおば	135		10	11	
			稲発酵粗飼料用稲（その他）	136		10	11	
			飼料用米	116		10	11	
		そば・なたね	米粉用米	115		10		
			加工用米	119		10		
			そば	117		10		
	なたね		118		10			
その他の作物	野菜		きゅうり	200	12	13		
		トマト	201	12	13			
		なす	202	12	13			
		大市なす	285	12	13			
		ピーマン	203	12	13			
		ししとう	288	12	13			
		トウガラシ	293	12	13			
		ズッキーニ	289	12	13			
		かぼちゃ	204	12	13			
		くり南瓜	282	12	13			
		いちご	205	12	13			
		すいか	206	12	13			
		メロン	207	12	13			
		キャベツ	208	12	13			
		キャベツ（裏作転作）	209					
	はくさい	248	12	13				
	はくさい（裏作転作）	210						
	さんとうさい	292	12	13				
	ほうれんそう	211	12	13				
	オクラ	262	12	13				
ハス	268	12	13					

カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号			
そ の 他 作 物	野	ねぎ	2 1 2	12	13		
		太ねぎ	2 6 3	12	13		
		岩津ねぎ	2 6 5	12	13		
		丹波ひかみねぎ	2 6 6	12	13		
		たまねぎ	2 5 4	12	13		
		たまねぎ（裏作転作）	2 1 3				
		らっきよ	2 9 1	12	13		
		レタス	2 1 4	12	13		
		レタス（裏作転作）	2 6 4				
		だいこん	2 5 6	12	13		
		だいこん（裏作転作）	2 1 5				
		青味だいこん	2 8 4	12	13		
		にんじん	2 1 6	12	13		
		にんじん（裏作）	2 8 7				
		さといも	2 1 7	12	13		
		れんこん	2 1 8	12	13		
		しょうが（根ショガ）	2 1 9	12	13		
		えだまめ（白大豆）	2 2 0	12	13		
		えだまめ（黒大豆）	2 5 5	3	4		
		青さやいんげん	2 2 1	12	13		
		未成熟とうもろこし	2 2 2	12	13		
		食用ばれいしょ	2 2 3	12	13		
		食用かんしょ	2 2 4	12	13		
		尼蒔（あまいも）	2 8 1	12	13		
		アスパラガス	2 2 5	5			
		きのこ類	2 2 6	12	13		
		ブロッコリー	2 2 7	12	13		
		ニラ	2 2 8	12	13		
		やまのいも	2 2 9	5			
		未成熟そらまめ	2 3 0	12	13		
		一寸そら豆	2 3 7	12	13		
		しゅんぎく	2 3 1	12	13		
		青さやえんどう	2 3 2	12	13		
		うすいえんどう	2 3 8	12	13		
		かぶ	2 3 3	12	13		
		ごぼう	2 3 4	12	13		
		まくわうり	2 3 5	12	13		
		しろうり	2 3 6	12	13		
		ぺっちゃんうり	2 8 0	12	13		
		とうがん	2 8 6	12	13		
		セロリ	2 3 9	12	13		
		食用なばな	2 8 3	12	13		
		その他つけな類	2 4 0	12	13		
		みつば	2 4 1	12	13		
		パセリ	2 4 2	12	13		
		ふき	2 4 3	5			
		しそ	2 4 4	12	13		
		なた豆	2 4 5	12	13		
		うど	2 4 6	5			
		キクイモ	2 4 7	12	13		
チンゲンサイ	2 4 9	12	13				
その他中国野菜	2 5 0	12	13				
その他野菜	2 5 1	12	13				
加工食品用ばれいしょ	2 5 2	12	13				
カリフラワー	2 5 3	12	13				
しろな	2 5 7	12	13				
こまつな	2 5 8	12	13				
みずな	2 5 9	12	13				
ヤーコン	2 6 0	12	13				
わさび	2 6 1	5					
セリ	2 6 7	12	13				
その他湛水性作物	2 6 9	12	13				
モロヘイヤ	2 7 0	12	13				
バジル	2 7 1	12	13				
ハーブ	2 9 0	12	13				

カテゴリー	区	作物等名	作物コード	整理番号			
	分						
その他の作物	野菜	ニンニク	272	12	13		
		ニンニク（特産）	273	12	13		
		みょうが	274	12	13		
		ゴーヤ	275	12	13		
		よもぎ	276	12	13		
		わらび	277	5			
		こごみ	278	5			
		施設野菜	279	12	13		
	果	日本なし	401				
		西洋なし	402				
		もも	403				
		うめ	404				
		びわ	405				
		かき	406				
		くり	407				
		いちじく	408				
		キウイフルーツ	409				
		ゆず	410				
		樹	すだち	411			
			ブルーベリー	413	5		
	うんしゅうみかん		414				
	りんご		415				
	ぶどう		416				
	おうとう		417				
	その他果樹		412				
	花き		花き	500	12	13	
		若松	501				
		花木	504				
		種苗類	502	12	13		
		芝	503	12	13		
		ツノナス	505	12	13		
		カーネーション	506	12	13		
		ストック	507	12	13		
なたね（花）		508	12	13			
キク		509	12	13			
地力増進作物	キンセンカ	510	12	13			
	地力増進水稻	658					
	とうもろこし（地力）	650					
	ソルガム（地力）	651					
	クローバー（アカ、シロ）	652					
	れんげ（地力）	653					
	ヘアリーベッチ（地力）	654					
	その他地力増進作物	655					
	景観形成作物	コスモス	700				
		ひまわり（景観）	701				
		なたね（景観）	702				
		マリナーゴールド	703				
		れんげ（景観）	704				
		そば（景観）	705				
		べにばな	706				
チューリップ		708					
ヘアリーベッチ（景観）		709					
その他景観形成作物		707					

※その他対象作物

カテゴリー	区	作物等名	作物コード	整理番号		
	分					
	野菜	えごま	352	12	13	

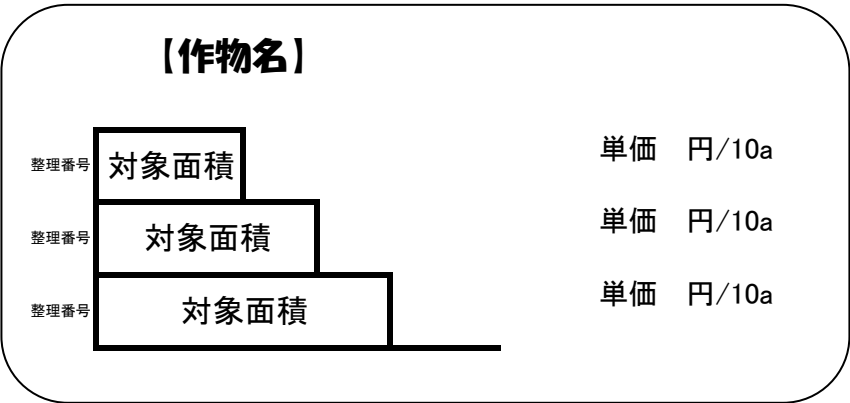
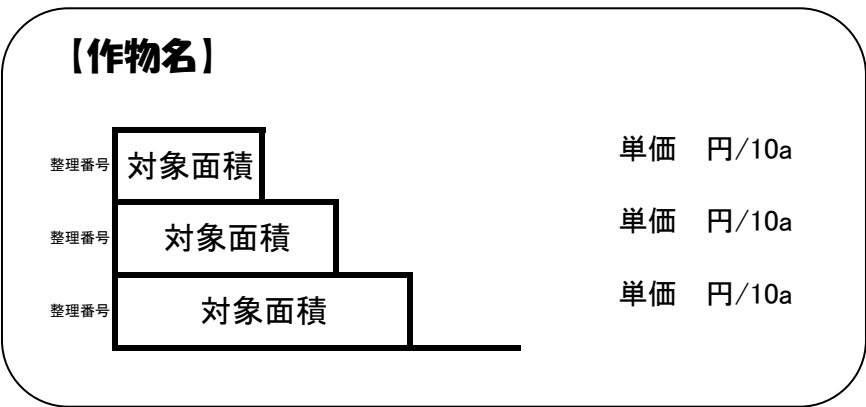
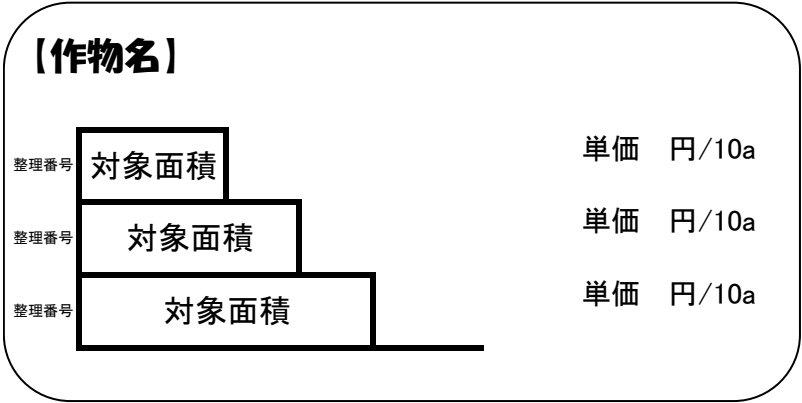
カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号		
...	野菜	えごま	352	12	13	

カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コ ー ド	整 理 番 号			
そ の 他 の 作 物	そ の 他 の 作 物	ハトムギ	9 0 0				
		その他雑穀	8 0 0				
		小豆	9 0 1	6・7	8・9		
		白小豆	9 0 5	6・7	8・9		
		落花生	9 0 2	12	13		
		その他豆類	9 0 3	12	13		
		大納言小豆	9 0 4	6・7	8・9		
		薬用作物	8 2 5	12	13		
		まんねんたけ	8 2 6				
		うどん	8 2 7	12	13		
		ドクタミ	8 4 0	12	13		
		コウケツメイ	8 4 1	12	13		
		その他薬用きのこ	8 2 8				
		香料作物	8 2 9				
		みつ源れんげ	9 1 1				
		みつまた	9 1 2				
		その他一般作物	8 4 8				
		ひまわり	8 4 9				
		藍	8 5 0				
		綿花	8 5 1	12	13		
		ごま	8 5 2	12	13		
		こうぞ	9 1 4				
		切花用母樹	9 1 5				
		その他永年性作物	8 2 0				
		山椒	8 2 1				
		朝倉山椒	8 2 4				
		ユーカリ	8 2 2				
たらの芽	8 2 3	5					
たばこ	8 3 7						
こんにやく	8 3 8	12	13				
その他特例作物扱い	8 3 9						
水	その他	茶	9 3 4				
		桑	9 3 5				
	新規 需要 米	援助米	9 1 6				
		試験研究米	9 1 7				
		新規需要米（輸出用米）	1 5 4				
		新規需要米（種子）	1 5 6	10	11		
		バイオ燃料用米	1 5 9				
		新規需要米（その他）	1 5 5				
	稲	主 食 用 水 稲 等	新規需要米（枠外酒米）	1 6 4			
			加工用青刈り稲	1 5 8			
直播栽培			1 6 0				
有機栽培			1 6 1				
その他減収栽培			1 6 2				
その他減収栽培（２）			1 6 3				
主食用水稲			1 5 0				
酒造好適米			1 5 1				
	種子生産ほ場（種子用米）	1 5 2					
	備蓄米	1 5 3					

(注意)
上記以外のコードは使用しないで下さい。

(参考)

産地交付金助成イメージ図(央栗市地域農業再生協議会)※該当なし



- (注1)都道府県及び各地域再生協議会で該当する作物について適宜作成
- (注2)整理番号は、活用方法の明細の整理番号を記入
- (注3)単価や対象面積に応じて、積み木の大きさを変更することも可。ただし、特に面積については、大小関係が分かるように留意
- (注4)積み木になる可能性のない設定は記載不要
- (注5)府県及び地域再生協議会が作成する際の、

産地交付金で複数使途の助成を受ける作物についてのみ作成してください